

「曖昧なる境界」

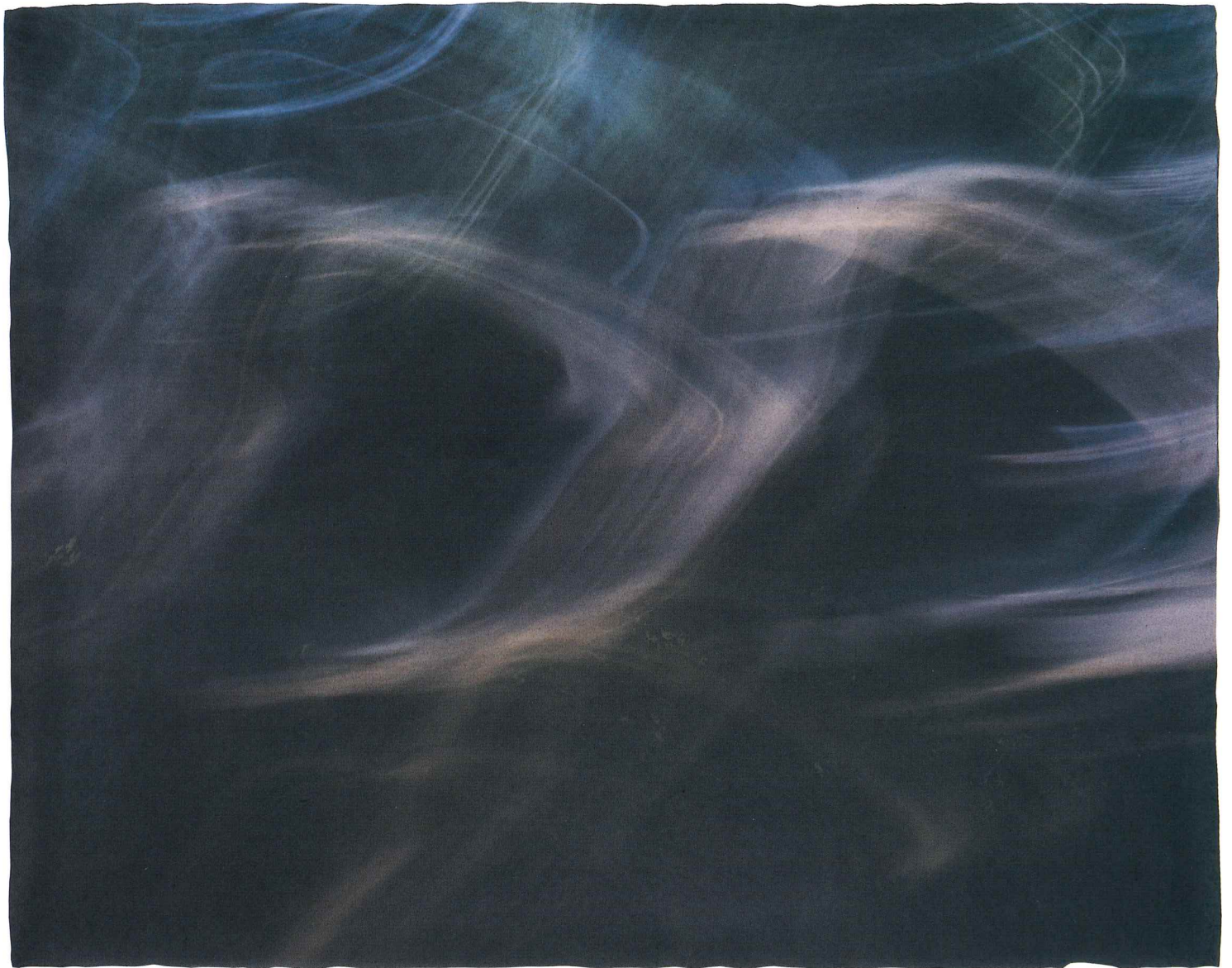
「映像としてのアート」展

1998年11月20日(金) — 12月23日(祝)・(水)

休館日=木曜日 開館時間=10:00—18:30<入場は閉館30分前まで>
入館料=一般500円(400円)/高・大生300円(200円)/中・小生100円(50円)
()内は20名以上の団体料金

主催・会場=(財)品川文化振興事業団 O美術館

- | | | | | |
|-------|---------------------|-----------------------|------------------------------|------------------------------|
| ●出品作家 | 秋岡美帆
——写真を元にした画像 | 伊庭靖子
——絵画 | 小山穂太郎
——フィルム等によるインスタレーション | 中野西敏弘
——フィルム等によるインスタレーション |
| | 市川美幸
——写真 | 小河朋司
——インスタレーション・箱 | 徳永雅之
——絵画 | 森田多恵
——インスタレーション・箱 |
- (50音順・敬称略)



秋岡美帆《光の間》1996

○シンポジウム「現代の“映像”表現について」
12月12日(日)1:30—4:00p.m.
(大崎ニューシティ内・日精ホール)

- パネラー
秋岡美帆(出品作家)
小山穂太郎(出品作家)
建昌 菅(多摩美術大学教授・美術評論家)
天野一夫(司会・O美術館学芸員)

○ワークショップ(それぞれ2:00p.m.—、定員15名/O美術館内)

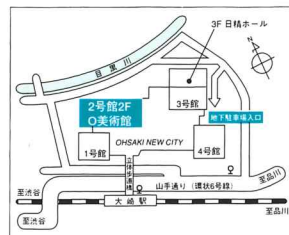
- ①12月5日(土)……森田多恵
「実物を映す幻灯機」を作ろう。
- ②12月6日(日)……小河朋司
のぞくと二つの色彩が混ざり合う箱を作ろう。
- ③12月13日(日)……秋岡美帆
写真で揺れる絵を作ろう。

◇作家によるギャラリートーク(それぞれ2:00—4:00p.m.)

- ①11月23日(土)・(日)……市川美幸
- ②11月28日(土)……小山穂太郎
- ③11月29日(日)……徳永雅之
- ④12月19日(土)……伊庭靖子
- ⑤12月20日(日)……中野西敏弘

◇学芸員によるギャラリートーク(それぞれ2:00—4:00p.m.)

- 11月21日(土)
- 11月22日(日)
- 12月23日(水)・(祝)



(財)品川文化振興事業団

O美術館

品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ2号館2階 ☎141-0032
TEL. 03-3495-4040 FAX. 03-3495-4192

[交通]
JR山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分
東急バス(大井町・渋谷駅)大崎駅下車徒歩1分
[駐車場]
美術館専用駐車場はございません。
お車でご来館の場合、「大崎ニューシティ」
地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。

「曖昧なる境界」

映像としてのアート」展

コンピュータ・グラフィックスを始めとした、現代の我々を取り囲むデジタル的な映像は、ますます高度にリアルなものになるようになっています。その様な精緻を極める仮想世界に対して、現実のモノの物質感逆は逆に薄らぎ、時にむしろ浮遊したもののように感じられます。そのように様々のイリュージョンとともに暮らし、そのままにしては我々はすでに現実そのものに切実なリアリティをもって向き合えなくなっているなかで、作家はあらためて視覚じだいを問おうとしています。

近年、現代の絵画・写真・インスタレーション等に曖昧な映像的な表現とも言うべき作品が目立ってきています。カ

メラのピンボケやブレを逆に利用した映像を用いた絵画作品や、映像的な動的なシーンを想起させる不明瞭な絵。または上映後に存在の痕跡を示すように茫洋と光を放つ蓄光塗料の塗られたスクリーン。さらには箱の中を覗くと現実の物が重なりダブルイメージ的に見える作品など。今回、展覧される多様な作品は、いずれも流動的で曖昧なイメージを見せながらも、鮮烈な印象をわれわれに与えてくれます。

現実と非現実の境界で漂う、曖昧で透明な映像が映るそれらの作品は微細に我々の感覚に働きかけ、知覚の揺れを我々に与えるものとなっています。カメラアイを通して、

または何らかの装置を通して覗き、現実の物を素材にしながらも、むしろわれわれの見知った世界は解体し、いわばもう一つの世界をかいま見せるのです。それは光、あるいは時の深い意味を考えることでもあり、その中で世界はあらためて初々しいものとして我々の前に立ち現れてきます。そのような出現的な作品は、感覚の確からしさよりは、曖昧でしかも透明なビジョンを示し、われわれはその刹那的な現実の影の中にこそ、逆に切実なリアリティを感じるのです。

今回の展覧は、8名の作家の絵画を始めとして、インスタレーションも含めた多彩で立体的な展示を通して、そのような映像の一般化した現代の状況の中で、映像的に生きようとすることで、感覚の覚醒をうながそうとする、現代の美術作品の一つの動向に注目しようとする試みです。



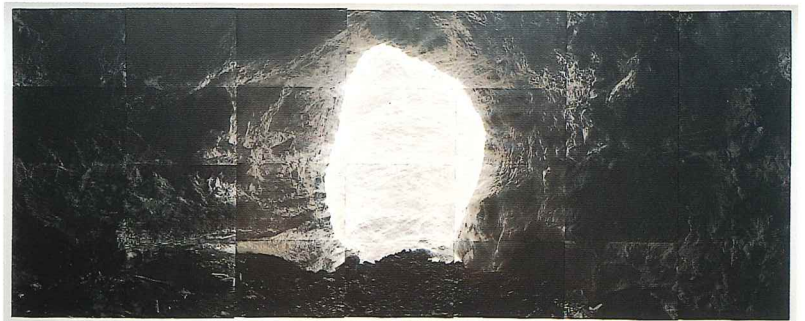
市川美幸《空のすみか/在る・あいだ》シリーズより 1997



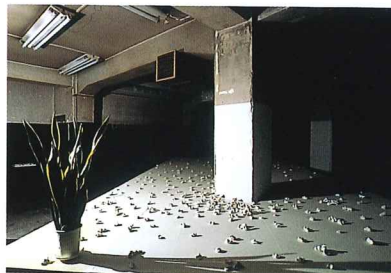
伊庭靖子《Untitled》1997 (参考図版)



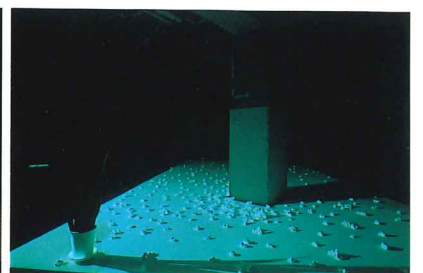
小河朋司《COLOR TINT -RED-》1998



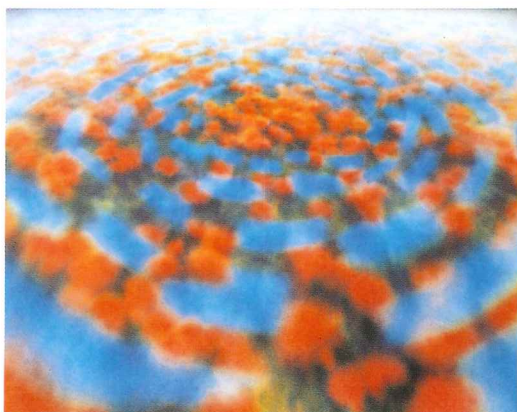
小山穂太郎《Spase/ Cavern/Sight No.2》1997 (参考図版)



中野西敏弘《EPHEMERAL MUSEUM》1997 (参考図版)



森田多恵《壺中の天》1996 (参考図版)



徳永雅之《Scene B&R (II)》1998 (参考図版)

勸品川文化振興事業団 ○ 美術館

品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ2号館2階 ☎141-0032
TEL. 03-3495-4040 FAX. 03-3495-4192

【交通】
JR山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分
東急バス(大井町・渋谷駅)大崎駅下車徒歩1分
【駐車場】
美術館専用駐車場はございません。
お車でご来館の場合、「大崎ニューシティ」
地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。